

アルترون®

- ①ご使用時には、包装ラベルに記載されている品名、品番、ロットNo.を確認の上、記録しておいてください。
- ②用途に適合した素材を選び正しくご使用ください。
- ③耐熱性を有しません。
- ④透明性は経時変化で劣化することがあります。ご使用の状況に応じて早めにお取り替えください。
- ⑤ご使用環境、条件（紫外線、雰囲気中の化学物質、オゾン等）の差により、変質、退色、劣化などが促進されることがあります。
- ⑥温度、湿度、直射日光などの条件によって若干収縮することがあります。包装された状態でも直射日光を受けるとシワやリンクル等の品質不良が発生します。輸送・保管に際して充分ご注意ください。
- ⑦硬度が異なるPVC製品や他素材の樹脂と接触すると、可塑剤が移行する場合があります。
- ⑧高温多湿を避け、気温変化の少ない場所で保管し、変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
- ⑨廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑩食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。

ヒシビニカ® ヒシプレーン®

- ①原反ご使用時には、包装ラベルに記載されている品名、品番、ロットNo.を確認の上、記録しておいてください。
- ②用途に適合した素材を選び正しくご使用ください。
- ③耐熱性を有しません。
- ④防災品の防火性能とは、自己消化性を有することであり、火中においては燃えます。
- ⑤透明性は経時変化で劣化することがあります。ご使用の状況に応じて早めにお取り替えください。
- ⑥ご使用環境、条件（紫外線、雰囲気中の化学物質、オゾン等）の差により、変質、退色、劣化などが促進されることがあります。
- ⑦温度、湿度、直射日光などの条件によって若干収縮することがあります。
- ⑧硬度が異なるPVC製品や他素材の樹脂と接触すると、可塑剤が移行する場合があります。
- ⑨熱溶着等の加工を施す際には臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
- ⑩原反のまま保管するときは、高温多湿を避け、気温変化の少ない場所で保管し、変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
- ⑪廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑫食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。

ヒシビニカコート

- ①原反ご使用時には、包装ラベルに記載されている品名、品番、ロットNo.を確認の上、記録しておいてください。
- ②デスクマットに一度転写したコピー紙など条件によっては転写する場合があります。
- ③天然漆、ニス、ラッカーなどの塗装面には使用を控えてください。
- ④表面を化学薬品（シンナー、ベンジン等の溶剤、除光液など）で拭かないでください。コート層が破損する恐れがあります。
- ⑤商品が汚れた場合は水拭きをしてください。汚れがひどい時は中性洗剤でお拭きください。
- ⑥耐熱性はありませので、60℃以上の温度のものを直接載せないでください。置き跡がついたり、変形の原因になります。
- ⑦テーブルマットとしてご使用になる場合、余分な水分や湿気でマットとテーブルが密着し、テーブルの塗装面を荒らすことがありますので時々マットをはがしてテーブルを乾拭きする等してご注意ください。
- ⑧マットを敷いたテーブル、デスクの上には乗らないでください。滑って怪我をする危険があります。
- ⑨マットの上に手をつくなど角度のある方向から荷重されると、マットが滑ることがありますので注意してください。
- ⑩温度、湿度、直射日光などの条件によって若干収縮する事があります。
- ⑪長期間保管する場合は、高温多湿を避け、気温変化の少ない場所で、変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
- ⑫廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑬加工業、卸、販売業者様で当製品をお取り扱いいただき販売される場合、お客様に対し上記注意点をご説明の上、お勧めいただきますようお願いいたします。
- ⑭ご使用環境、条件（紫外線、雰囲気中の化学物質、オゾン等）の差により、変質、退色、劣化などが促進されることがあります。
- ⑮ご不明な点がございましたら、購入窓口にお尋ねください。
- ⑯食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。

プライキャンバス® 透明シリーズ カラーシリーズ

- ①当プライキャンバス®は、軟質塩化ビニルを使用した透明ターポリンシートです。
- ②ご使用環境、条件（紫外線、雰囲気中の化学物質、オゾン等）の差により変質、退色、劣化などが促進されることがあります。
- ③可塑剤を含んでおりますので、異なる樹脂や硬度の異なる素材と長期に亘り接触すると可塑剤が移行する場合があります。
- ④簡易間仕切り、カーテン、カバー以外の用途にご使用しないでください。
- ⑤原反ご使用時には包装ラベルに記載されている品名・品番・ロットNo.を確認の上記録しておいてください。
- ⑥熱溶着による接合加工時臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
- ⑦用途に適合した素材を選び正しくご使用ください。
- ⑧長期間保管する場合は、高温多湿を避け、気温の変化の少ない場所を選び、変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
- ⑨透明性は経時変化で劣化することがあります。ご使用の状況に応じて早めにお取り替えください。
- ⑩廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑪食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。



プライキャンバス® 不燃シリーズ

- ①原反ご使用時には、包装ラベルに記載されている品名・品番・ロットNo.を確認の上、記録しておいてください。
- ②熱溶着による接合加工時に臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
- ③高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こす事がありますので、ウエルダーバー及びシートの溶着部分に付着物の無い状態を確認してください。
- ④縫い込みロープ・ハトメ部分の縫製時には、必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
- ⑤プリンター機種・インクにより印刷状態は異なります。事前に印刷を行い、条件をご確認の上ご使用ください。
- ⑥加工作業時、ガラス繊維が皮膚に付着して不快感が生じる事がありますので、長袖の着用・手袋の使用等防御対策を行って作業をしてください。
- ⑦長時間保管する場合は、高温多湿を避け、気温の変化の少ない場所を選び、変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
- ⑧可塑剤を含んでおりますので、硬度が異なるPVCフィルムや他素材の樹脂と長期間接触すると、可塑剤が移動する場合があります。
- ⑨基布には吸水防止処置はしておりません。
- ⑩廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑪折り曲げにより、場合によっては白化する可能性があります。
- ⑫食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。



プライクリーン® 防錆タイプ

- ①カタログ記載内容は屋内向け一般的な環境下での使用を想定したものです。
- ②原反ご使用時には包装ラベルに記載されている品名・品番・ロットNo.を確認の上、記録しておいてください。
- ③防錆用途以外には使用しないでください。
- ④製品には防錆面がわかるように印刷表示してありますので間違えないようご使用ください。
- ⑤防錆効果がなくなってもフィルムの色に変化は起きませんので、使用開始日の記入をするなどの管理をしてください。密閉状態でのご使用を推奨します。使用条件、環境条件により防錆効果変動しますのでご注意ください。
- ⑥包装等使用する前には対象物を洗浄し指紋等を除去されることをお勧めいたします。また作業する場合は手袋を着用してください。素手で部品などに触れると指紋による錆が発生します。同様に不純物、汗なども付着すると錆の原因となりますのでご注意ください。
- ⑦製品を保管する場合は高温多湿、直射日光のあたる場所は避け密閉しておいてください。
- ⑧高周波ウエルダーによる溶着加工は若干の条件設定が必要となりますのでご注意ください。
- ⑨重度なアレルギー体質の人は取り扱いにご注意ください。
- ⑩廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑪食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。



パーティション

- ①当パーティションシリーズ製品の幕材は主に軟質塩化ビニルを使用した素材です。
- ②ご使用環境、条件(紫外線、雰囲気中の化学物質、オゾン等)の差により、変質、退色、劣化など促進されることがあります。
- ③ビニール製品は耐熱性を有しません。
- ④ビニール製品は可塑剤の移行により、接触している他樹脂製品を汚染する場合があります。
- ⑤防災品の防災性能とは、自己消火性を有することであり、火中においては燃えます。
- ⑥簡易間仕切り、カーテン、カバー以外の用途にご使用しないでください。
- ⑦その他当製品のご使用に関し、ご不明な点があれば、弊社代理店、及び弊社担当までお問い合わせください。
- ⑧原反のまま保管するときは、高温多湿をさけ、気温変化の少ない場所で変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
- ⑨廃棄処分される場合は廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃業者に処理を委託してください。
- ⑩食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。



輸送・保管に関するご注意

- ①重量物ですので輸送・保管に際しては、荷崩れ防止の処置を行ってください。
- ②リフトなどでの取り扱いについては、シートの破損に十分配慮してください。
- ③火気厳禁ですので、消防法等の関係法規を厳守し、防災の処置に十分配慮してください。
- ④品質保証上、保管に際しては、直射日光や雨水に直接曝すことは避けてください。